校訓　「学而不厭」　（がくじふえん）これで十分と満足することなく常に学び続けようとすること

福山市立蔵王小学校　学校通信

蔵王山

2023 年
（令和 5 年）
10 月 3 日発行
第 7 号

「楽しく明るくあいさつをしよう」児童会９・10 月の生活目標

今年度，児童会では自分たちの課題をもとに毎月の生活目標（蔵王しぐさ）を考え，取り組んでいます。現在は，９・10 月の生活目標を「楽しく明るくあいさつをしよう」とし，あいさつの輪を広げる活動，あいさつキャラクターの募集などをしています。

今年度，児童会は「児童会だより『みんなで挑戦！』」を月ごとに発行し，自分たちで考えた目標や取組をみんなに伝えています。その中に，次の一文がありました。
「児童会役員　→　高学年　→　蔵王小のみんな　と，あいさつの輪を広げたいと思います。あいさつを通して仲良くなりましょう。」

「あいさつをしよう」と，児童会役員が率先してあいさつをし，その輪を広げようとする取組は，あいさつ運動の原点だと思います。あいさつは心をつなぐ言葉です。人に「してください。」と言うのではなく，自分からすることに価値があることだと思います。児童会のみなさん，とてもよいところに気づいています！

校長から…

心がほっこりとする一場面…

毎朝，児童玄関前で子どもたちにあいさつをしていると，子どもたちのいろいろな心を感じます。

登校後，教室で朝の準備を終えた人が外へ遊びに出ます。（「朝活」とよびます。）登校時はちょっと元気がないかな？と心配した人も，あらためて自分から「おはようございます」と，思い切り元気よくあいさつをして出ます。…登校直後は，学校へ来る坂がきつかったのだろうなと，想像します…

ある日，「朝活」に出る人が「行ってきます。」とあいさつをして出ていきました。私は「え？」と思いましたが，「朝活」を終えて児童玄関に入る人に，私が「おかえり」と迎えるようにしているので，きっと，その言葉が心に残っていたのでしょう。それで，「行ってきます。」の言葉が出たのだろうと思いました。

やはり，あいさつは心に蓄えられていくものなのでしょう。その蓄えがあれば，自分の心から人にあいさつの言葉として出ていくのだと思いました。

今年も受け継ぐはね踊り

９月27日（水），５，６年生がはね踊り保存会，学校支援委員の皆様から教えていただいたはね踊りの発表会を行いました。

今年度，生活科，総合的な学習の時間のカリキュラムを見直し，5,6 年生がはね踊りを受け継ぐことにしました。児童数の減少への対応とあわせ，学校内で２学年がともに学ぶことで，学校内でも６年生が５年生に受け継ぐという流れをつくるという思いもありました。

今年度は今までより多い人数での練習でしたが，地域の皆様のお陰で，子どもたちが立派に踊ることができました。

あらためまして，保存会，支援委員の皆様，ありがとうございました。

地域のある方から伺ったお話です…

「私の子どもは蔵王から離れて暮らしていますが，はね踊りを小学校の時から踊っているので，絶対自分も受け継ぎたいと言って，お祭りの時は必ず蔵王に帰って一緒に踊るんですよ。」

といったお話でした。

そのお話を伺い，蔵王の方々がはね踊りを受け継いでおられる強い想いを，あらためて感じました。地域や学校ではね踊りを受け継いでいる子どもたちが，将来，次の世代の子どもたちに，しっかり受け継いでいけるよう，踊りだけでなく，地域の方々のはね踊りに対する想いもしっかり受け継がせたいと思いました。

本校で，城東中学校区研修会を実施

10月５日（木），蔵王小学校を会場に，城東中学校区の先生が集まり，授業力向上をめざした研修を行います。本校３，５年生での国語授業をもとに研修を行う予定です。

子どもたちにとって，全ての学びの基礎になる「読む力」。国語で，どのように育てていくのか，福山市立大学の先生を講師にお迎えし，教職員も学びます。学びを日々の授業に活かしていきます。

お知らせ

毎週日曜日のお昼前にＲＣＣで放送される福山市広報番組「ピース！ピース！ふくやま」の中で，蔵王小学校の子どもたちの姿が短時間ですが放映されます。学校ばら花壇をお世話している思い，世界バラ会議への思いをひとことですが伝えています。放送は 10 月 29 日（日）午前 11 時 24 分～の予定です。ぜひ，ご覧ください。